

施策番号	0205		
施策名	女性に対するあらゆる暴力の根絶		
概要	社会問題化している配偶者等からの暴力（DV）の根絶に向けた啓発や自立支援とともに、女性に対する性的いやがらせなど、あらゆる暴力の根絶に向けた広報・啓発を強化する。		
担当局・部室	文化市民局・共生社会推進室	共管局・部室	
上位政策	2 人権・男女共同参画		
施策に関する主な分野別計画等	第4次京都市男女共同参画計画（きょうと男女共同参画推進プラン）		

### 施策の評価

#### 1 客観指標評価

指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト
1 配偶者暴力相談支援センターにおけるDVに関する対応件数（京都府）（件）	a	a	7,249	6,878	3,191	215.5%	a	1.00
2 -	-	-	-	-	-	-	-	-
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>客観指標総合評価</b>	<b>a</b>	<b>a</b>					<b>a</b>	

#### 2 市民生活実感評価

設問	平成30年度	令和元年度							令和2年度※
		評価	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数	
1 女性に対する暴力や性的いやがらせが根絶された社会になってきている。	c	c	19 2.8%	145 21.2%	277 40.5%	150 21.9%	93 13.6%	684	-
2 -	-	-							-
3 -	-	-							-
4 -	-	-							-
5 -	-	-							-
<b>市民生活実感調査総合評価</b>	<b>c</b>	<b>c</b>							<b>-</b>

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

<総合評価>

平成30	B	令和元	B	令和2	B	施策の目的がかなり達成されている
重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	施策の直接的な対象者は配偶者等からの暴力を受けた者に限られ、市民の生活実態に施策の効果が直接反映されにくい性質であるため、客観指標総合評価を重視する。				
	<input type="checkbox"/> 市民の実感					

<原因分析>

**客観指標総合評価**

b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。  
 c評価以下であり、次の原因が考えられる。

**市民生活実感調査総合評価**

b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。  
 c評価以下であり、次の原因が考えられる。

- 普及啓発等により、DVやセクシュアル・ハラスメントが社会的に認知されてきていることから、被害の顕在化は進んでいるが、市民生活実感の「女性に対する暴力や性的いやがらせが根絶された社会になってきている。」という実感を得るには至っておらず、c評価で推移していると考えられる。

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業> (令和元年度又は令和2年度新規事業)

	事業名	事業費の状況(千円)		令和2年度事務事業評価結果における目標達成度評価	担当局
		令和元年度決算額	令和2年度予算額		
1					
2					
3					
4					
5					

\*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- 支援を必要としている被害者だけでなく、広く市民にDVの基礎知識が浸透するよう、多様な手法で啓発活動を行っていく。
- 第4次京都市男女共同参画計画(きょうと男女共同参画推進プラン)における京都市DV対策基本計画に基づき、若年層を対象とした啓発に重点的に取り組む。
- 新型コロナウイルス感染症による生活不安やストレス等による被害の増加や深刻化に対して、京都市DV相談支援センターの相談体制の強化をはじめとして、個別のケースに即したきめ細やかで切れ目のない支援を引き続き行っていく必要がある。

施策名	0205	女性に対するあらゆる暴力の根絶
-----	------	-----------------

指標名	配偶者暴力相談支援センターにおけるDVに関する対応件数（京都府）（件）
-----	-------------------------------------

担当課	共生社会推進室	連絡先	222-3091
-----	---------	-----	----------

**1 指標の説明**

京都市DV相談支援センター及び京都府家庭支援総合センターにおける京都市域のDV（配偶者・交際相手等からの暴力）に関する関係機関との調整件数を含む対応件数

**2 指標の意味**

重大な人権侵害であるDVの救済に向けた貢献度を示す指標

**3 算出方法・出典等**

出典：事業担当課及び京都府家庭支援総合センター調査

**4 数値**

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成30年度	令和元年度		数値	根拠	達成度
数値	7,249	6,878	371件減	3,191	令和2年度の目標値達成のため、当該年度達成すべき数値（*前年度目標値比73件増）	215.5%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	3,264件	令和2年度	210.7%	平成21年度実績(2,468件)を基準に、5年毎に15%増の目標値を設定。

備考	*{目標年次件数(3,264件) - H21年度実績(2,468件)} ÷ 11年(H22~R2年度)
----	---

**5 評価基準**

最新数値の目標値に対する達成度が

- a : 100%以上
- b : 70%以上100%未満
- c : 30%以上70%未満
- d : 10%以上30%未満
- e : 10%未満

**6 基準説明**

- ・ 目標値を達成すれば a 評価
- ・ 以下20~40%刻みで b ~ e 評価

**7 評価結果**

平成30	令和元	令和2
a	a	a